

包装タイムズ

THE HOSO TIMES

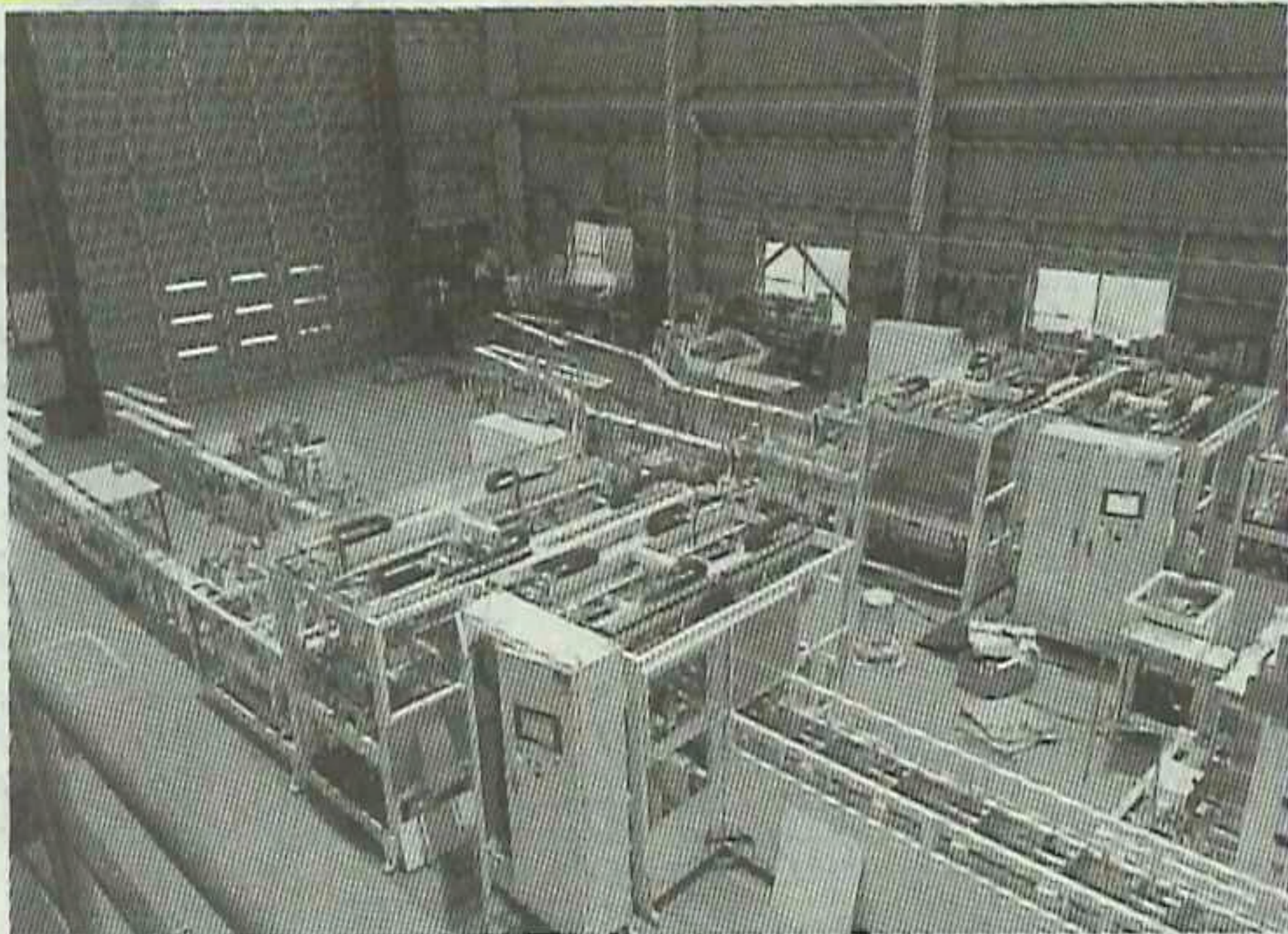
海外にケーサー出荷

大和エンジニアリング

差別化提案で実績着実増

大和エンジニアリング(愛媛県松前町、089・984・4432)は、差別化製品の提案で昇軌道を鮮明にしている。先にも海

外向け製封函一体型ケーサーを受注開発し現地に出荷した。ピロー包装された乾麺を集積して箱詰めする装置で、個包装されたものをバ



アメリカに出荷した乾麺向けケーサー

ラ集積して箱詰めするラインと5食包装されたものを集積してケーサーに装填する二つの製造ラインを持つ。今後も独自技術を駆使し開発提案型のスライルでマーケット需要に

対応していく考え。

このほど同社がアメリカ現地企業向けに出荷したのは、個包装された乾麺を集積してケーサー詰める製封函一体型ケーサー。マーケット要求を受けバラ集積と5食入り包装を集積する、それぞれ独立する二つのラインが製封函一体型ケーサーに合流する仕組み。バラ包装の集積であれば毎分350袋の処理能力を持っている。

同社では引き続き、多様なマーケットニーズに機械開発を進めながら提案活動を積極化する考えだ。これまでも機械設置が困難とされた細くて幅の狭い場所に省スペース対応型テープ式全自動製函機を提案したり、冷凍食品分野には横積みにし

たシートを1枚ずつ引き抜いて横向きに製函を行い、ケーサー内に製品を横挿入する製封函一体型ケーサーを提案したりと柔軟姿勢で開発を手掛けてきた。現在の手詰めラインを自動化したいなど、制限された作業現場の要求など多種類の製封函機需要に一つひとつ対応え、年間150台以上を出荷し累計で3千台を超える機械を出荷している。